

国立民族学博物館研究報告 vol.19-2; 表紙, 目次ほか

| | |
|-----|---|
| 雑誌名 | 国立民族学博物館研究報告 |
| 巻 | 19 |
| 号 | 2 |
| 発行年 | 1994-10-28 |
| URL | http://hdl.handle.net/10502/00009193 |

1994—1992 卷 2 号

国立民族学博物館 研究報告



植民地期メキシコにおけるインディオ騒動の政治経済学

——1774年トルマナルコ村(チャルコ地方)の事例—— 安村直己

1917年バリ大地震

——植民地状況における文化形成の政治学—— 永渕康之

ギリアマにおける妖術告発とパパイヤのキラホをめぐる噂—— 慶田勝彦



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

19 卷 2 号

1994 年

目 次

| | | |
|---|------|-----|
| 植民地期メキシコにおけるインディオ騒動の政治経済学 ——1774年トラルマナルコ村（チャルコ地方）の事例—— | 安村直己 | 173 |
| 1917年バリ大地震 ——植民地状況における文化形成の政治学—— | 永渕康之 | 259 |
| ギリアマにおける妖術告発とパバイヤのキラホをめぐる噂 | 慶田勝彦 | 311 |
| 彙 報 | | 349 |
| 国立民族学博物館研究報告寄稿要項 | | 355 |
| 国立民族学博物館研究報告執筆要領 | | 356 |

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 19 No. 2

1994

- YASUMURA, Naoki The Political Economy of an Indian Rebellion in Colonial Mexico: The Case of Tlalmanalco, Chalco Region, in 1774 173
- NAGAFUCHI, Yasuyuki Colonial Narratives on Demolished Culture: The Great Earthquake in Bali, 1917 259
- KEIDA, Katsuhiko Accusations of Witchcraft and the Oath of Pawpaw (*Kiraho cha Kapapayu*) among the Giriama of Kenya 311

彙 報 (平成6年4月～平成6年6月)

人事異動

(行政職)

(昇任)

4月1日 琉球大学事務局長 内藤 貞
(管理部長)
管理部会計課課長補佐
山口 重治
(大阪大学工学部経理課用度掛長)

(配置換)

4月1日 管理部長 東府 義之
(山口大学医学部事務部長)
管理部会計課長 井上 信一
(京都教育大学会計課長)
文部省学術国際局国際企画課教育文化交流室室長補佐
谷本 滋
(管理部会計課長)
管理部施設課長 山岸 大紘
(放送教育開発センター制作部技術課長)
愛知教育大学施設課長

芋野 昭作

(管理部施設課長)
情報管理施設情報サービス課長
小早川良規
(愛媛大学附属図書館情報サービス課長)
山形大学附属図書館情報管理課長
五十嵐哲郎
(情報管理施設情報サービス課長)

大阪大学医学部事務長補佐

前田 英夫

(管理部会計課課長補佐)

(併任)

4月1日 情報管理施設長 栗田 靖之

(第二研究部教授)

(教育職)

(名誉教授称号授与)

4月1日 竹村 卓二

(採用)

4月1日 第二研究部助教授 横山 廣子
第二研究部助手 福岡 正太
第四研究部助手 林 勲男

(昇任)

4月1日 第一研究部助教授 朝倉 敏夫
(第四研究部助手)

(配置換)

6月24日 地域研究企画交流センター教授
松原 正毅
(第一研究部教授)

(併任)

6月24日 地域研究企画交流センター長
松原 正毅
(地域研究企画交流センター教授)

(客員研究部門)

4月1日 第二研究部教授 片倉 素子
(中央大学教授)
第三研究部教授 樺山 紘一
(東京大学教授)
第四研究部教授 五十嵐武士
(東京大学教授)
第二研究部助教授 山下 晋司
(東京大学助教授)
第三研究部助教授 池上 良正
(筑波大学助教授)
第三研究部助教授 木村 秀雄
(東京大学助教授)
第四研究部助教授 吉岡 政徳
(神戸大学助教授)

(外国人客員研究部門)

5月2日 第五研究部助教授

CHAN, Kwok Bun

(シンガポール, シンガポール

国立大学上級講師)

〈任期 6. 5. 2~6. 8.31〉

5月30日 第五研究部教授 COBBI, Jane

(フランス, 国立科学研究所主

任研究員)

〈任期 6. 5.30~7. 3.31〉

(任期満了)

4月27日 第五研究部助教授

TONG, Chee Kiong

(シンガポール, シンガポール

国立大学上級講師)

〈任期 6. 1. 6~6. 4.27〉

評議員 (6. 7. 1現在)

| 氏名 | 任期 |
|-------|-------------------|
| 石井 進 | (5. 3. 1~6. 9.14) |
| 石川 榮吉 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 伊地智善継 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 井村 裕夫 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 上山 春平 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 梅原 猛 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 大西 昭男 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 岡田 節人 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 加藤 秀俊 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 金森順次郎 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 北村 甫 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 木田 宏 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 木村 重信 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 祖父江孝男 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 坪井 清足 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 中根 千枝 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 樋口 敬二 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 本間 長世 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 宮田 満雄 | (4. 9.15~6. 9.14) |

運営協議員 (6. 7. 1現在)

氏名 任期

| | |
|-------|-------------------|
| 綾部 恒雄 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 伊藤 幹治 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 大貫 良夫 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 口羽 益生 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 佐原 眞 | (6. 5.16~8. 5.15) |
| 谷 泰 | (6. 4. 1~8. 3.31) |
| 長島 信弘 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 細野 昭雄 | (6. 4. 1~8. 3.31) |
| 松園万亀雄 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 山口 昌男 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 米山 俊直 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 石毛 直道 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 黒田 悦子 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 崎山 理 | (6. 4. 1~8. 3.31) |
| 杉田 繁治 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 杉村 棟 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 友枝 啓泰 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 藤井 知昭 | (4. 9.15~6. 9.14) |
| 松澤 員子 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 松原 正毅 | (6. 4. 1~7. 3.31) |
| 和田 正平 | (5. 4. 1~6. 9.14) |

(任期満了)

5月15日 石井 米雄 (4. 5.16~6. 5.15)

顧問

梅棹 忠夫 (5. 4. 1~)

懇話会委員 (6. 7. 1現在)

| 氏名 | 任期 |
|-------|-------------------|
| 栗津 潔 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 井上 義國 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 岡田 善雄 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 勝井 三雄 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 川添 登 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 黒川 紀章 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 小林 公平 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 小林庄一郎 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 小松 左京 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 谷口 文夫 | (5. 7. 1~7. 6.30) |
| 津田 和明 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 中塚 昌胤 | (6. 7. 1~8. 6.30) |

彙 報

堀切 民喜 (6. 7. 1~8. 6.30)
 山下 俊彦 (6. 7. 1~8. 6.30)
 山本 信孝 (6. 7. 1~8. 6.30)
 湯浅 毅子 (6. 7. 1~8. 6.30)

(任期満了)

6月30日 山田 稔 (4. 7. 1~6. 6.30)

情報システム運営委員 (6. 7. 1現在)

| 氏名 | 任期 |
|-------|-------------------|
| 伊東 太作 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 井上 如 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 及川 昭文 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 大林 太良 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 国井 利泰 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 柴田 正美 | (5.11.16~7.11.15) |
| 辻 三郎 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 長尾 真 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 中野 照海 | (4.10. 1~6. 9.30) |
| 中山 和彦 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 八村廣三郎 | (4.10. 1~6. 9.30) |
| 星 仰 | (5.11.16~7.11.15) |
| 松村多美子 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 吉田 将 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 藤井 知昭 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 栗田 靖之 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 石毛 直道 | (5. 5. 1~7. 4.30) |
| 松澤 員子 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 小山 修三 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 杉田 繁治 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 藤井 龍彦 | (6. 7. 1~8. 6.30) |
| 松原 正毅 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 長野 泰彦 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 久保 正敏 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 東府 義之 | (6. 4. 1~8. 3.31) |

国内資料調査委員 (6. 7. 1現在)

| 氏名 | 任期 |
|-------|-------------------|
| 石塚 尊俊 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 泉 房子 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 犬塚 幹士 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 今村 充夫 | (5. 4. 1~7. 3.31) |

| | |
|-------|-------------------|
| 大城 学 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 大村 和男 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 勝部 正郊 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 萱野 茂 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 神崎 宣武 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 木崎 和廣 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 岸田 定雄 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 木下 尚子 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 倉田 亨 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 小泊 立矢 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 坂本 育男 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 坂本 正夫 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 佐々木長生 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 佐野 賢治 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 澤 四郎 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 篠原 徹 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 下野 敏見 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 杉本 尚次 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 高橋 克夫 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 立平 進 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 田中忠三郎 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 鶴藤 鹿忠 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 都丸十九一 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 名久井文明 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 西村 綏子 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 野口 光敏 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 橋本 鉄男 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 藤本 英夫 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 山路 興造 | (5. 4. 1~7. 3.31) |
| 和田 正洲 | (5. 4. 1~7. 3.31) |

館内各種委員会 (6. 7. 1現在)

○長期計画策定特別委員会委員

| | | |
|-------|-------|-------|
| 藤井 知昭 | 石毛 直道 | 吉田 集而 |
| 中牧 弘允 | 秋道 智彌 | 近藤 雅樹 |
| 栗田 靖之 | 田邊 繁治 | 田村 克己 |
| 杉島 敬志 | 端 信行 | 藤井 龍彦 |
| 吉田 憲司 | 杉田 繁治 | 森田 恒之 |
| 大塚 和義 | 吉本 忍 | 松原 正毅 |
| 東府 義之 | 河野 克俊 | 井上 信一 |
| 久野 木 | 故選 義浩 | |

○新展示棟増設特別委員会委員

藤井 知昭 石毛 直道 中牧 弘允
 栗田 靖之 立川 武藏 田村 克己
 福岡 正太 庄司 博史 吉田 憲司
 崎山 理 森田 恒之 山本 紀夫
 大森 康宏 久保 正敏 井上 信一
 山岸 大紘 久野 木 故選 義浩

○標本資料委員会委員

石毛 直道 中牧 弘允 近藤 雅樹
 田村 克己 福岡 正太 大丸 弘
 新免光比呂 藤井 龍彦 黒田 悦子
 森田 恒之 大塚 和義 園田 直子
 井上 信一 久野 木 故選 義浩

○映像・音響資料委員会委員

杉田 繁治 小長谷有紀 福岡 正太
 江口 一久 石森 秀三 吉田 憲司
 大森 康宏 吉本 忍 河野 克俊
 井上 信一 小早川良規 故選 義浩

○図書委員会委員

杉村 棟 松澤 員子 熊倉 功夫
 塚田 誠之 杉島 敬志 大丸 弘
 柄木田明子 石森 秀三 安村 直己
 崎山 理 福川 圭子 井上 信一
 小早川良規 故選 義浩

○国内資料調査委員会委員

栗田 靖之 熊倉 功夫 松山 利夫
 中牧 弘允 秋道 智彌 近藤 雅樹
 大丸 弘 小山 修三 吉田 憲司
 佐藤 浩司 大塚 和義 山本 紀夫
 井上 信一 久野 木 小早川良規
 故選 義浩

○情報化委員会委員

杉田 繁治 朝倉 敏夫 近藤 雅樹
 田邊 繁治 塚田 誠之 江口 一久
 庄司 博史 清水 昭俊 八杉 佳穂
 久保 正敏 山本 泰則 東府 義之
 井上 信一 久野 木 小早川良規
 故選 義浩

○展示委員会委員

石毛 直道 吉田 集而 松山 利夫
 重松真由美 立川 武藏 田村 克己
 端 信行 八杉 佳穂 佐藤 浩司

森田 恒之 大塚 和義 山本 紀夫
 東府 義之 加藤 建夫 久野 木
 故選 義浩

○広報・事業委員会委員

和田 正平 秋道 智彌 朝倉 敏夫
 近藤 雅樹 田邊 繁治 杉島 敬志
 野村 雅一 栗本 英世 黒田 悦子
 小山 修三 久保 正敏 泉 幽香
 東府 義之 河野 克俊 加藤 建夫
 井上 信一 久野 木 故選 義浩

○出版委員会委員

友枝 啓泰 松澤 員子 周 達生
 吉田 集而 松山 利夫 秋道 智彌
 田邊 繁治 塚田 誠之 横山 廣子
 上杉 富之 野村 雅一 庄司 博史
 新免光比呂 清水 昭俊 安村 直己
 林 勲男 山本 紀夫 長野 泰彦
 泉 幽香 加藤 建夫

○環境保全委員会委員

石毛 直道 杉村 棟 和田 正平
 友枝 啓泰 杉田 繁治 栗田 靖之
 松原 正毅 東府 義之 河野 克俊
 加藤 建夫 井上 信一 山岸 大紘
 久野 木 小早川良規 故選 義浩

○防災対策委員会委員

石毛 直道 杉村 棟 和田 正平
 友枝 啓泰 杉田 繁治 栗田 靖之
 松原 正毅 東府 義之 河野 克俊
 加藤 建夫 井上 信一 山岸 大紘
 久野 木 小早川良規 故選 義浩

○大学院委員会委員

和田 正平 田村 克己 清水 昭俊
 藤井 龍彦 崎山 理 大森 康之
 東府 義之 加藤 建夫

○施設整備委員会委員

友枝 啓泰 吉田 集而 横山 廣子
 栗本 英世 佐藤 浩司 吉本 忍
 東府 義之 井上 信一 山岸 大紘
 久野 木

海外における研究・調査・収集活動

| 氏名 | 官職 | 出発 | 帰国 | 行先 |
|-------|------------|---------|---------|-----------------|
| 松澤 員子 | 教授(第一研究部) | 6. 4. 5 | 6. 4.12 | アメリカ合衆国 |
| 田村 克己 | 助教授(第二研究部) | 6. 4.10 | 6. 4.18 | ラオス |
| 藤井 知昭 | 教授(第二研究部) | 6. 4.17 | 6. 4.25 | 中華人民共和国 |
| 南 真木人 | 助手(第三研究部) | 6. 5. 1 | 7. 2.28 | アメリカ合衆国 |
| 大森 康宏 | 助教授(第五研究部) | 6. 5.10 | 6. 6.10 | ドイツ, イタリア, フランス |
| 森田 恒之 | 教授(第五研究部) | 6. 5.16 | 6. 5.21 | 台湾 |
| 周 達生 | 教授(第一研究部) | 6. 5.18 | 6. 5.30 | 香港, ベトナム |
| 吉本 忍 | 助教授(第五研究部) | 6. 5.26 | 6. 6.24 | インドネシア |
| 新免光比呂 | 助手(第三研究部) | 6. 6.28 | 6. 9.21 | ルーマニア, ハンガリー |

来館者抄

| | | | |
|-------|--|-------|---|
| 4月1日 | Muñoz, Simon (ベネズエラ, ベネズエラ中央大学長) | 4月24日 | 馬場 悠男(国立科学博物館人類研究部人類第一研究室長), 永井 隆男(国立科学博物館普及部長), 佐々木勝浩(国立科学博物館普及部展示課長) |
| 4月7日 | 宋 文 薫(台湾, 国立台湾大学教授), 陳 文 玲(台湾, 順益台湾原住民博物館学芸員) | 5月11日 | 畑 祥雄(大阪国際写真センター代表), 西野 民夫(八尾市教育委員会社会教育部生涯学習推進課長), 井上 剛一(八尾市教育委員会社会教育部生涯学習推進課) |
| 4月8日 | 毛 昭 晰(中華人民共和国, 杭州大学教授) | 5月20日 | WANDIBBA, Simiyu(ケニア, ナイロビ大学アフリカ研究所長) |
| 4月9日 | 孫 平 化(中華人民共和国, 中日友好協会会長), 関 毅(中華人民共和国, 中日友好協会会長夫人), 関 立 彤(中華人民共和国, 中日友好協会), 小山藤兵衛(大阪府日中友好協会顧問), 小山 登美(大阪府日中友好協会理事), 富士井堪一(大阪府日中友好協会理事) | 5月26日 | 馬 承 源(中華人民共和国, 上海博物館長), 黄 宣 佩(中華人民共和国, 上海博物館副館長), 丁 義 忠(中華人民共和国, 上海博物館文化交流弁公室主任), 孫 慰 祖(中華人民共和国, 上海博物館青銅研究部館員), 単 国 霖(中華人民共和国, 上海博物館書画研究部研究員), 王 正 書(中華人民共和国, 上海博物館工芸研究部副研究員) |
| 4月13日 | 山本 泰一(徳川美術館副館長) | | |
| 4月15日 | 埴原 和郎(国際高等研究所副所長) | | |
| 4月17日 | PÉREZ, Andrés Carretero(スペイン, スペイン文化省博物館総局長) | | |

- 6月10日 小泉 信 (富士通電算機専門
学院長)
- 6月13日 藤原 宏志 (宮崎大学農学部教
授), 俣野 敏子 (信州大学農
学部教授)
- 6月20日 Nus, Patrick (ベルギー, ベル
ギー王国総領事館総領事),
CORYN, Yves (ベルギー)
- 6月23日 李 漢 洪 (大韓民国, 国立中
央劇場長)
- 6月27日 原 峻二 (NHK きんきメディ
アプラン社長), 嶋林 義邦
(NHK きんきメディアプラン
企画事業本部長), 今村 隆
(NHK きんきメディアプラン
企画事業本部長)
- 6月28日 中垣 勲 (文部省大臣官房文
教施設部大阪工事事務所長),
金谷 史明 (文部省大臣官房文
教施設部大阪工事事務所長補
佐)

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認めたる者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスマ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園10-1

国立民族学博物館内

国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限る。図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。
[柳田 1942: 67-69]
[Leach 1961: 123]
[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]
ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。
[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]
9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。

- (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
- (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。

欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本語の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』13 (4): 311-330.

Bohannan, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14 (4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse. In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language, The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

1966 『文明をもった生物』日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

1974 『シャーマニズム——古代のエクスタシー技術——』堀一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 19卷2号

〔監 修〕

佐々木 高 明

〔編集委員長〕

友 枝 啓 泰

〔編集委員〕

秋 道 智 彌

泉 幽 香

上 杉 富 之

清 水 昭 俊

庄 司 博 史

新 免 光 比 呂

田 邊 繁 治

長 野 泰 彦

野 村 雅 一

松 山 利 夫

安 村 直 己

横 山 廣 子

平成6年10月28日 発行 非売品

国立民族学博物館研究報告 19卷2号

編集・発行 国立民族学博物館
〒565 吹田市千里万博公園10-1
TEL 06(876)2151(代表)

印 刷 中西印刷株式会社
〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075(441)3155(代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.19 no.2
1994

- YASUMURA, Naoki** **The Political Economy of an Indian Rebellion in Colonial Mexico: The Case of Tlalmanalco, Chalco Region, in 1774**
- NAGAFUCHI, Yasuyuki** **Colonial Narratives on Demolished Culture: The Great Earthquake in Bali, 1917**
- KEIDA, Katsuhiko** **Accusations of Witchcraft and the Oath of Paw-paw (*Kiraho cha Kapapayu*) among the Giriama of Kenya**



**National Museum
of Ethnology**

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X